

学術

本会スポーツマウスガード普及啓発事業について ブラインドサッカー代表育成選手へのマウスガード提供

本会では、平成26年より都民・国民がスポーツ(競技)を安心・安全に行なうことを目的として、スポーツマウスガードの普及啓発事業に取り組んでいます。

今回は、選手の合宿日にあわせて、令和3年9月20日(月・祝)と10月24日(日)に本会会員の小枝義典先生のご協力を得て、ブラインドサッカー日本代表育成選手へのマウスガード提供を行ないました。

初日(9月20日)は、口腔内を観察し、印象採得・石膏模型作製まで会場で行ない、2日目(10月24日)は、できあがったマウスガードを口腔内に適切に装着できるように調整して選手に渡しました。

令和3年8月に開催された東京2020パラリンピックでは、悲願の初出場を果たしたブラインドサッカー日本代表の活躍は、記憶に新しいことと思います。

雲ひとつ無く晴れ渡った空のもと、ブラインドサッカーチームの待つ会場に向かいました。参加していたのは、2024年にパリで開催予定のパラリンピック代表の候補生たちと聞き、益々期待が高まりました。

既に、練習が開始され、ウォーミングアップが行なわれており、指導者の指示に従って、選手間の間隔をと

り、走る、足・手を振っての運動、声を出し、右、左と動く中、誰ひとり、ぶつかることなく、自らの位置を確認しながら、楽しく行なっている様子に感動しました。また、練習試合では、見事なゴールを決めるシーンにも立ち会うことができ、今後の活躍がとても楽しみなものとなりました。

育成選手には中学生、高校生も含まれており、健常者よりも口腔健康に気づかいられている選手も多くいらっしゃいます。その中で、プレー中の接触事故などによる歯牙損傷をできるだけ防げればと強く思いました。

選手からは、作製に来てくれたことへのお礼、マウスガード着用による安全性により、3年後のパリ2024パラリンピックに向けて思いっきりプレーができることに感謝している、との挨拶がありました。

こちらからは、安心・安全にプレーができることを目的にマウスガード装着をすすめてきたこと、啓蒙活動を始めて、いち早くブラインドサッカーチームが理解を示してくれ、長いおつきあいになったことを伝え、マウスガードを装着して思いっきりプレーができるように応援している、とエールを送って挨拶としました。



印象採得



マウスガードセット

※巻頭カラービュー参照



練習試合



見事なゴールの瞬間

※巻頭カラービュー参照